項目別の学校評価：学校関係者評価結果公開資料

平成 28 年 1 月 6 日公開日

１．学校の教育目標

本学校法人 山陰理容美容学園は、教育基本法および学校教育法に従い、学校教育を行い、理容師・美容師の優秀な人材を育成することを目的とする（寄附行為第３条)。

また本学 松江理容美容専門大学校は、学校教育法、理容師法および美容師法に基づき、将来理容師・美容師になろうとするものに必要な知識・技術を授け、併せて徳性を涵養することを目的とする（学則第１条)。

さらに学校訓として１）国家・社会に寄与する２）能力と知性を養う３）強い意志を育てる４）創造力・個性を伸す５）良き社会人となる、ことをあげている。

本学の教育は、上記の三つの柱を中心に、『知識』と『技術』の双方が『相互に触発または融合』し合って、理容技術・美容技術を通して地域社会に還元できるように教育をおこなっている。

教育理念・目標とは、「教養分野」と「専門分野」の両者を涵養することにより『知識』と『技術』がバランスよく『融合』した人間力豊かな人材の養成であり、一言でいえば『知識と技術の融合』となる。

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成２７年度の

長期目標……①『知識』と『技術』の『融合』
②学校教育法第１条校化→専門職大学

中期目標……①学校教育法第１条校化の準備
②自己評価→学校関係者評価→第三者評価（美容学科に続き理容学科）
③隣地不動産取得（講義・実習・コースに活用）

短期目標……①職業実践専門課程（第２期目）
②美容学科の第三者評価受審申請（専門職高等教育質保証機構）
③各学科のコース（第３期目）
④学生募集の強化、高校訪問の早期化、AO 入試→自己推薦入試への変更後の動向
⑤国家試験（実技試験・学科試験）合格率アップ
⑥オープンキャンパスの重点化（資料請求者数からのオープンキャンパス体験率、特に出願者率、入学者率）の向上・改善対策
⑦退学・休学対策（保護者の離職による生活困窮対応）
⑧リスクマネジメント（事故・事件への対応：特に担任）

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）．教育理念・目標

評価項目	評価達成結果※
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	⑤　４　３　２　１　N.A.
・学校における職業教育の特色は何か	⑤　４　３　２　１　N.A.
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	５　④　３　２　１　N.A.
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	５　４　③　２　１　N.A.
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

① 課題

学生への周知だけでなく、保護者への周知もすすめる。

② 今後の改善方策

激動する社会変化の中で、将来構想の周知のために最新の情報収集・分析につとめることを望む。

③ 特記事項

（２）．学校運営

評価項目	評価達成結果※
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	５　④　３　２　１　N.A.
・人事、給与に関する規則等は整備されているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	５　④　３　２　１　N.A.
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

① 課題

自己評価および学校関係者評価を実施しているが、加速度的に第三者評価の実施をすすめ、平成２７年度の美容学科さらに平成２８年度の理容学科の受審を推進していく。

② 今後の改善方策

学校関係者評価ならびに第三者評価の結果を重んじ、学生満足度が改善・充実されるよう希望する。電子ファイルはサーバーに保存し有効活用を求める。

③ 特記事項

（３）．教育活動

評価項目	評価達成結果※
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育達成レベルや学習時間の確保は明確にされているか	５　④　３　２　１　N.A.
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	５　④　３　２　１　N.A.
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・授業評価の実施・評価体制はあるか	５　４　③　２　１　N.A.
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	５　④　３　２　１　N.A.
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	５　④　３　２　１　N.A.
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	５　④　３　２　１　N.A.
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

① 課題

学生評価アンケートを実施し、さらにその結果を解析して積極的に活用し、教育活動の改善にフィードバックしていくことが重要である。

② 今後の改善方策

教職員間で評価基準・その結果を確認し合い、計画→実行→評価→改善すなわち PDCA サイクルによって、さらなる改善を継続実行し、教育活動の水準の向上を望む。

③ 特記事項

学生による授業評価を実施し、教育活動の改善のために、その結果を論文としてまとめる準備がなされている。

（４）．学修成果

評価項目	評価達成結果※
・就職率の向上が図られているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・資格取得率の向上が図られているか	５　④　３　２　１　N.A.
・退学率の低減が図られているか	５　４　③　２　１　N.A.
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	５　４　③　２　１　N.A.
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	５　４　③　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

① 課題

資格取得率の強化、退学率の低減、卒業生動向の把握の充実をはかる。卒業生とのネットワーク構築。

② 今後の改善方策

理容師・美容師の国家試験の合格率については、理容学科が５年連続して１００％を達成できている。美容学科では５年平均合格率が８４．９％であり、改善対策・合格率向上を求める。

③ 特記事項

現在、卒業生動態（１年後、３年後、５年後）把握調査・準備およびシステム化を構築中。

（５）．学生支援

評価項目	評価達成結果※
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・学生相談に関する体制は整備されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	５　４　③　２　１　N.A.
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	５　④　３　２　１　N.A.
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	５　４　③　２　１　N.A.
・学生の生活環境への支援は行われているか	５　４　③　２　１　N.A.
・保護者と適切に連携しているか	５　④　３　２　１　N.A.
・卒業生への支援体制はあるか	５　４　③　２　１　N.A.
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

① 課題

学生の生活環境および心身の把握体制の整備。

② 今後の改善方策

離職等による保護者の生活困窮対応として、奨学金制度を最大限に活用して、学生の学費捻出に取組んでいるが、完全ではない現状である。

③ 特記事項

高等学校でのキャリア教育のひとつとして実施されている上級学校への見学を、本学では毎年受入れている。在学生の健康管理については、保健室・AED の設備があり、校医による定期的健康診断を実施している。

（６）．教育環境

評価項目	評価達成結果※
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	５　④　３　２　１　N.A.
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	５　④　３　２　１　N.A.
・防災に対する体制は整備されているか	⑤　４　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

①　課題

毎年度の施設・設備の経年対策と時代の要求に即応した施設・設備の導入のための抜本的対策。

② 今後の改善方策

教育課程編成委員会および学校関係者評価委員会からの意見を受け、平成２７年度中に施設・設備の抜本的な大規模改修工事を実施した。

③ 特記事項

防火防災訓練を年２回、地区広域行政消防本部、警備会社、電気保安協会、電力会社、ガス会社と合同で本学で実施している。今後は備蓄食料等についても検討中である。海外研修により、これまで韓国ソウルホソ専門学校生との交流・研修を実施している。

（７）．学生募集

評価項目	評価達成結果※
・学生募集活動は、適正に行われているか	５　④　３　２　１　N.A.
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	５　④　３　２　１　N.A.
・学納金は妥当なものとなっているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

①　課題

本学の短期目標に記載（学生募集の強化、オープンキャンパスの重要化）。

② 今後の改善方策

社会の変遷と共に、学生募集における理容学科・美容学科の人気の変動が見うけられる中、カリキュラムの充実と教職員のスキルアップおよび他校との差別化をはかるために、学生募集に教職員が一丸となって対応することを求める。卒業生からのさらなる店舗紹介ならびに就職企業情報の発信を望む。

③ 特記事項

（８）．財務状況

評価項目	評価達成結果※
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	５　４　③　２　１　N.A.
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	５　④　３　２　１　N.A.
・財務について会計監査が適正に行われているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・財務情報公開の体制整備はできているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

① 課題

長期的には、少子化により入学生の減少から収入減となる傾向を危惧する。
短期的には、年度途中での退学・休学が収入減となる。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

外部会計士による財務についての指導を受けている。

（９）．法令遵守

評価項目	評価達成結果※
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	５　４　③　２　１　N.A.
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	５　④　３　２　１　N.A.
・自己評価結果を公開しているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

① 課題

個人情報の保護の観点から、離席時の重要書類の取扱いに個人レベルでの意識のバラツキが見られる。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

現在は、企業・卒業生・保護者・地域住民等に対し、本学のホームページ（http://www.ribi.ac.jp）においても情報公開を実施しており、開かれた教育機関の充実を進めている。

（１０）．社会貢献・地域貢献

評価項目	評価達成結果※
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	⑤　４　３　２　１　N.A.
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	５　④　３　２　１　N.A.
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	５　④　３　２　１　N.A.

※５：充分に達成（１００％）　４：概ね達成（８０％）　３：普　通（６０％）　２：まだ不充分（４０％）　１：ほとんど進んでいない（２０％）　N.A.：当てはまらない

①　課題

一年間の内、「どのような時期に」「どのような方法で」、年度「カリキュラム」の制約を考慮しながら、社会貢献・地域貢献をいかに成し遂げるかを検討している。

② 今後の改善方策

すでに決定しているカリキュラムではあるが、その中で可能な限りの社会貢献・地域貢献を望む。

③ 特記事項

・身だしなみ講座（島根県立松江ろう学校）…… 理容・美容技術指導
・みだしなみ講習会（島根県立松江養護学校）…… 整髪・洗顔・化粧指導
・理容・美容奉仕活動（救護施設泉の園）……理容・美容技術奉仕
・山陰ヘルス＆ビューティーフェスタ（松江くにびきメッセ）……理容・美容技術体験
・クリスマスイベント（松江勤労者総合福祉センター）……イベント美容技術支援
・地域活性化事業（松江市精神障害者地域生活支援センター）…… 理容・美容体験
・大学祭（島根大学）……理容・美容技術指導
・福祉展ボランティア活動（救護施設泉の園）……理容・美容技術奉仕

４．評価項目の達成及び取組状況

学校関係者評価委員会名簿

平成 28 年 1 月 6 日現在

学校関係者評価委員会規程	氏名	年齢	性別	所　　属
第５条第１項第１号	長廻　秀雄	７２	男	鳥取県理容組合、業界団体、就職先企業、施設の実習先、専門分野の業界、卒業生
第５条第１項第１号	岩上　　清	６９	男	鳥取県理容組合、業界団体役職員、専門分野の業界、卒業生
第５条第１項第１号	佐藤　初美	７４	女	島根県美容組合、業界団体、就職先企業、施設の実習先、専門分野の業界
第５条第１項第１号	山本　常夫	５３	男	島根県美容組合、業界団体、就職先企業、施設の実習先、専門分野の業界、地域住民
第５条第１項第２号	伊藤　敏夫	６６	男	島根県専修学校保護者連合会、保護者、PTA 会長、卒業生、同窓会、地域住民
第５条第１項	池淵　　淳	５９	男	松江理容美容専門大学校

学校関係者評価委員会委員からの各評価項目（１）～（１０）についての意見は、以下の通りであった。

（１）教育理念・目標 …… 保護者への教育理念等の周知が必要と考える。
（２）学校運営 …… 教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会が設立されたことにより、質の高い実践的な職業教育がこれまで以上に組織的・継続的に運営できている。
（３）教育活動 …… 学生アンケートや外部アンケート等のさらなる実施を推奨する。
（４）学修成果 …… 学生の退学理由について原因を調べてみると、保護者からの経済的支援という大きな問題点であることが理解できた。
（５）学生支援 …… 離職による保護者の生活困窮に対して、奨学金制度を最大限に活用して学生支援にあたってほしい。
（６）教育環境 …… すべての項目について達成されており、高く評価できる。施設・設備の老朽化対策は計画的に対応していきましょう。
（７）学生募集 …… 学生募集に教職員一丸となって対応することを望む。
（８）財務状況 …… 少子化の中、入学生の減少から収入減となる傾向を危惧します。引続きより高い達成度を期待します。
（９）法令遵守 …… ホームページの活用を充実させましょう。
(10) 社会貢献・地域貢献 …… 社会貢献については、地域と密着して活動していることが良く理解でき、今後益々の発展・貢献を期待します。

上記の学校関係者評価委員会からの評価結果ならびに今後の改善方策等についての意見を、学校法人山陰理容美容学園松江理容美容専門大学校は、自己評価の方策の検討に積極的に活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善に図ることとした。

（平成 27 年度版公表：平成 28 年 1 月 6 日）